

# 活動レポート

## 倫理委員会

文責：倫理委員会幹事長 佐々木裕之

### 平成28年度第6回、平成29年度第1回研究WG活動報告

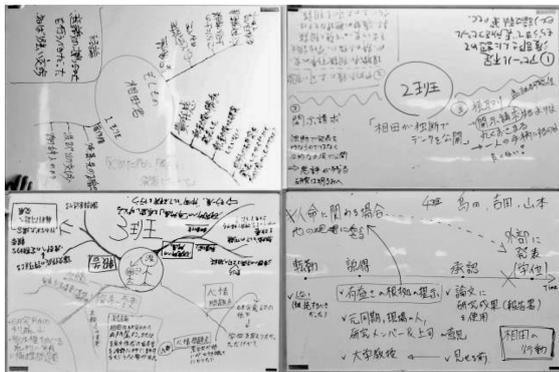
#### はじめに

倫理委員会では、平成29年2月13日(月)に平成28年度第6回研究WG(出席者18名)を(株)構研エンジニアリング会議室にて、平成29年4月10日(月)に平成29年度第1回研究WG(出席者16名)を(株)中大実業会議室において開催しましたので、これらについて報告いたします。

#### 1. 平成28年度第6回研究WG

##### (1) 旭川高専共同授業について

平成28年度の旭川高専で技術者倫理共同授業の第1回目の授業を平成28年12月19日(月)、第2回目の授業を平成29年1月16日(月)、第3回目の授業を平成29年1月23日(月)に実施しております。



授業で学生が作成したマインドマップ

講義テーマは第1班が「研究倫理」、第2班が「科学技術の不確実性と意思決定」、第3班が「内部告発者の保護・救済」でした。学生とのディスカッション事例として第1班は「使われた研究成果」、第2班は「セメント系固化材を用いた地盤改良に関する事例」、第3班は「廃棄物処理会社の社員の倫理」を用いて実施いたしました。

第1回目の授業は、今年度初めての我々技術士と

の共同授業であったためか、自分の意見を積極的に述べる学生・場面が昨年、一昨年に比べると少ないようでした。第2回目の授業では、「科学技術の不確実性と意思決定」というテーマに興味を示してくれましたが、題材事例が学生にはやや理解し難いようでした。なお、第1回目の授業に比べると様々な意見・考えが積極的に出されていたようです。第3回目の授業では内部告発というテーマが学生にはイメージしやすかったのか、第1回、第2回の授業よりも、活発な議論がなされていました。



旭川高専での授業の様子

##### (2) 創作事例研究5「ヒューマンエラーと安全対策」 (担当：佐々木幹事長・小澤委員)

前回WGでの議論に基づき、佐々木幹事長より本事例の最終的なとりまとめ結果の説明がありました。

議論では以下のような意見が出されました。

- ・リスク管理そのものがヒューマンエラーの予防的対策の一つだと考えればよいと思う。
- ・事故の原因がヒューマンエラーで事故の対策がリスク管理と捉えてはどうだろうか。
- ・リスクマネジメントを行う際には、技術者あるいは経営者として高い倫理観を持って対策を講じなければならないと感じた

### (3) ミニ講演～「新たな技術者倫理教育に向けて」を 読んで～(担当：今井委員長)

今井委員長より、東京工業大学の札幌教授が月刊「技術士」2016.10号に寄稿した「新たな技術者倫理教育に向けてー学習・教育目標とモジュール型モデル・シラバスー」を読み、北海道本部倫理委員会でのこれまでの取組とその関連についての講演を行いました。モジュール型モデル・シラバスとは技術者倫理教育の学習・教育目標を明確化し「標準的倫理教育」教材の提供や成果の測定方法等をパッケージ化したものです。これに示されているモジュール・テーマが当委員会のこれまでの取組の内容と大きな相違はないことから、これまで通りの活動を続けていけばよいのではないだろうかとの説明がありました。

## 2. 平成 29 年度第 1 回研究 WG

### (1) 創作事例研究 6「社長の横やり(企業倫理と技術者倫理)」(担当：川浦委員・門脇委員)

門脇委員と川浦委員より、技術者倫理授業で使用する教材試案として第 5 回研究 WG からの継続で「社長の横やり」と題した教材試案についての報告がありました。資料構成はこれまでと同様に 1. はじめに、2. ケーススタディに必要な関連知識、3. ケーススタディとしています。



第 1 回研究 WG 会議状況

前回作成した資料から「1. はじめに」「2. ケーススタディに必要な関連知識」では、本事例研究で学びたいこととして、「企業の役割とは」「技術者倫理の必要性」「事例を通してジレンマ発生時にどう考えるべきか」「新聞やマスコミで報道された事例」などを具体的にわかりやすく導入部分として取りまとめていました。「3. ケーススタディ」では新たに「セブンスステップガイド」を用いて取りまとめし直して

おり、学生との共同授業などで利用しやすいような工夫・改善がなされていました。

### (2) 第 8 回技術者倫理フォーラムについて

今年度の技術者倫理フォーラムは 7 月 7 日(金)に開催することとし、開催時期を変更することになりました。また、基調講演は東京工業大学の札幌教授に依頼しており、講演内容については札幌教授にお任せしています。なお、旭川高専での共同授業報告を池田委員から発表してもらい、事例研究報告を川浦委員と門脇委員が「社長の横やり(企業倫理と技術者倫理)～技術者倫理教育の教材試案として～」と題して発表することとなっています。

### (3) 今年度の活動方針について

佐々木より、今年度の活動方針について説明を行いました。昨年度と同様に、創作事例研究「創作事例から学ぶ技術者倫理の実学」を参考にとりまとめるものです。この背景には、当委員会が旭川高専より技術者倫理教育の共同授業を依頼されたことを契機として、倫理委員会として教材を作成し、メンバー全員が講師として対応できることを念頭に置いたものです。今年度も 1 組(長谷川委員他)が各々自由に題材やテーマを設定したうえで、これまでと同様にとりまとめを行います。また、この他に最近入会された委員やこれまであまり発表をしていなかった委員を対象としたミニ講演を実施する予定です。当委員会も発足から 10 年近くなり、比較的最近入会された委員が多くなったことから、委員の自己紹介を兼ねた倫理に少しでも関連するような発表を行ってもらい、古参委員との交流を図るものです。

### おわりに

倫理委員会では会員を募集しております。倫理委員会のメンバーとの意見交換や交流を通じて、技術者倫理についてさらに深く考えてみませんか？

詳しくは当委員会 HP をご確認ください。また、7 月 7 日(金)に開催される第 8 回技術者倫理フォーラム及び情報交換会に参加してもらえれば、当委員会の活動内容についても詳しく知ることが出来ると思いますので、参加をお待ちしています。